

表 樹園地土壌の基本的な改良目標

土壌の性質		土 壌 の 種 類	
		褐色低地土、褐色森林土 灰色低地土、灰色台地土、黄色土	多湿黒ボク土 黒ボク土
作土の厚さ		-	
主要根群域の厚さ		60 cm以上	
主要根群域の最大ち密度		山中硬度計で22 mm 以下	
主要根群域の粗孔隙率 (pF1.5以下)		10%以上	
主要根群域の三相分布		固相 40~50% 液相 25~30% 気相 25~30%	
pH (H <sub>2</sub> O)		5.5~6.5 (作物により好適範囲が異なる)	
CEC		乾土100 g当たり20 me以上	
塩基状態	塩基飽和度	Ca <sup>2+</sup> 、Mg <sup>2+</sup> およびK <sup>+</sup> イオンがCECの70~90%を飽和すること	左イオンがCECの40~60%を飽和すること
	塩基組成	普通畑、施設土壌に同じ	
可給態リン酸含量 (乾土100g当たり)		10~30 mg 《トルオーグ法》	
腐植含量 ( " )	砂質土壌	2~4 g	7~15 g
	粘質土	3~5 g	
電気伝導度	施肥前	0.2~0.5 mS	左よりやや高め
	施肥後	0.3~1.5 mS	

注) 樹種によって好適pHが異なるので、次表を参考にする。

【参考】主要果樹の土壌診断基準 (農水省果樹試験場、1985)

項目	樹種	ブドウ		ナシ		モモ		カキ		クリ	リンゴ		
	土壌区分										&		
主要根群域の深さ	cm	30		40		30		40		40	30		
根域の深さ	cm	50		70		60		60		60	60		
地下水位	cm	80		100		100		80	100	100	100		
全	ち密度	mm		20		20		20		22	22		
	粗孔径	%		12		10		15		15	20		
根域	透水係数	cm/秒		10 <sup>-4</sup>		10 <sup>-4</sup>		2×10 <sup>-4</sup>		10 <sup>-4</sup>	10 <sup>-4</sup>		
根域下層	pH(H <sub>2</sub> O)	-		-		5~6		5~6		-	5.5~6		
主	pH(H <sub>2</sub> O)	6~7		5.5~6.5		5.5~6		5.5~6.8	5.5~6.2	5~5.5	5.5~6		
	塩基飽和度	%		70~100	60~80	50~70	40~60	50~70	50~80	40~70	35~50	50~80	
根	Ca / Mg	当量比		3~6	4~6	6~6.5	6~7	4~8	4~8	5~8	4~7	4~8	
	Mg / K	当量比		2<		2<		1.5~3		2<		2~5	2<
域	有効態P <sub>2</sub> O <sub>5</sub>	mg/100g		10		20	10	10		10	5	2	10
	腐植	%		2	-	-		3	-	2	-	2	-

注1) 可給態リン酸はトルオーグ法による。 注2) 土壌区分の型は、褐色森林土、褐色低地土、灰色台地土、灰色低地土、赤色土、黄色土など。 型は、黒ボク土。